

しっかり確認、安全運転

第 48 回交通安全こども自転車大田原大会

子供の自転車の安全な乗り方に関する知識や技術の習得と、交通事故防止を目的に開催されました。

市内小学校のチームが参加し、学科テストと実技テストで自転車の安全な乗り方を競いました。

競技終了後には那須ブルーゼンによる交通安全講話が開かれ、児童らは熱心に耳を傾けました。

優勝した親園小学校とシード校の大田原小学校は、7月2日に開催された県大会に出場しました。

6/10



6/11

田んぼをキャンバスに「一矢必中」

田んぼアート公開



那須塩原市西遅沢 279-1 にある中野登喜男氏の田んぼに、与一くんと、とちまるくんをモデルにした田んぼアートが公開されました。キャラクターの知名度アップや、農業・観光への関心支援にもつながると企画、制作されたそうです。

なすひかりをはじめとする 13 品種の稲を使い、それぞれの色の違いを利用して描かれています。

6/21

地域で広げよう消費者の安全・安心

第 8 回消費者まつり

大田原市くらしの会が主催している「消費者まつり」の開催も 8 回目となりました。消費生活や環境保全活動に身近に触れられる機会ということもあり、小さな子どもから年配者まで多くの方々が来場し賑わっていました。このイベントを通して、自分で出来る環境への取り組みやものの大切さについて、改めて考えるきっかけとなればと思います。



6/21

心に染み入る音色とゆらめくともしび

くろね紫陽花まつりオープニングセレモニー

くろね紫陽花まつりの開催にあたり、オープニングセレモニーが執り行われました。

セレモニー前には素晴らしいフルートの演奏、その後は人権のともしびの点灯がありました。

ともしび点灯に参加した黒羽中学校の生徒は、薄暗い夕暮れの中、綺麗にゆらめくともしびを見て、にこやかに微笑んでいました。



これからたくさんのお客様とともに
トコトコ大田原 公共施設来場者 30 万人達成

中央 1 丁目の「トコトコ大田原」で、昨年 12 月 15 日にオープンした公共施設部分への来場者が 30 万人を突破しました。

30 万人目は、家族 3 人で訪れた那須塩原市の中学教諭八木沢良久さんと、津久井市長から花束や記念品が贈られました。

八木沢さんは、来館は 2 度目で、「30 万人目を告げられびっくりしました。大変うれしい」と話していました。

6/22



6/23



国際協力機構 (JICA) のボランティア事業

青年海外協力隊派遣表敬訪問

おちあいしょうへい
羽田在住の落合翔平氏が、平成 26 年 7 月から平成 28 年 6 月の 2 年間、青年海外協力隊として、東南アジアのラオスへ派遣されます。

落合氏はコミュニティ開発に携わり、コミュニティの経済活性化などに取り組みます。

2 年間の活動が有意義になるよう期待しています。

6/25



生活習慣予防や姿勢矯正にも

健康ノルディックウォーキング講座

ノルディックウォーキングとは、フィンランド発祥の、2 本のポールを使ったウォーキングのことで、手軽さと全身運動効果の高いエクササイズとして注目されています。ポールが体を支えてくれるので転倒防止にもなり高齢者の方も安心して挑戦できます。

参加された方は、「思ったよりも全身の筋肉を使うので、とても良い運動になります。」と、有意義な時間を過ごしていました。

6/25



地域全体が大きな家族

両郷地区見守り隊発足式

見守り組織の発足は、両郷地区で 9 地区目となり、今年度中に予定している残り 3 地区の発足をもって、市内全地区で見守り組織が整備されます。

見守り隊は、地域住民が声掛けや買い物支援などを通し、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯、そして生活弱者を地域全体で支える仕組みです。県内でも先駆的な取り組みとして注目されています。